

2026 年度 学習交流会

私たちの知らないイスラエルとイラン

～ 犠牲になるのは いつも子どもたち ～

今年の2月末、イスラエルとアメリカが突然イランへの攻撃をはじめ、子どもたちが学んでいる学校にも爆弾を落としました。その後の情勢は、皆さんもご存じの通りです。

今回の学習交流会は広く世界に目を向けて、翻訳家と作家をお招きし、イスラエルとイランについて学びます。報道は戦争一色になっていますが、それによって見えなくなっているもの——現地で暮らす子どもたちや大人たちの普通の暮らし、培われてきた文化や歴史に触れることが、児童文学に関わる私たちにとって、実はいま必要ではないでしょうか？

学習交流会では、イスラエルのヘブライ文学翻訳を34年続けている樋口範子さん、イランの絵本の紹介と研究を続けてきた愛甲恵子さん、中東を舞台にした創作で知られる新藤悦子さんに、ご自身の作品や、現地との交流を通して知り得たことを存分に語っていただきます。そしてこの世界の混迷を胸に、子どもたちに本を通して何をどう届けたらよいか、考えを深め合う時間にしていければと思います。

3人の方たちのお話をうかがいながら、質疑の時間を交えての2時間半です。多くの皆さんのご参加をお待ちします。

○ 日 時 : 2026年5月29日(金)

14:00～16:30(13:30開場)

○ 会 場 : 日本出版クラブホール 4F

(東京メトロ神保町駅A5出口より徒歩2分)

◎ 発言者 : 樋口 範子 (ヘブライ語翻訳家)

愛甲 恵子 (ペルシャ語翻訳家)

新藤 悦子 (作家)

／野坂 悦子 (司会・オランダ語翻訳家)

◎ 企画運営: 日本児童文学者協会 国際部

◆ 定 員 : 対面100名+リモート参加100名

対面の方は出欠はがきで、リモート参加の方は、Peatixでお申込みください。

Peatixのリンク : <https://jibunkyo-event.peatix.com/view> →→



◆ 参加費 : 対面: 無料

オンライン: 会員と編集者は無料、それ以外の方は500円

※学習交流会は、基本的には会員限定のイベントですが、当日、同会場にて5時半より文学賞贈呈式があり、招待状をお送りする団体や出版社の方にも、ご案内を差し上げております。

■ 主催: 日本児童文学者協会 (TEL 03-3268-0691) ■